

「のびのび暮らすために建てました」 家は手作り派のいちばん大きな作品です

撮影/KERASA 取材・文/松川絵里

住み心地のよい、「理想の家」について
考えたことはありますか？

「いつかはDIYで何かつくってみようか」。
そう思うことはありませんか？
もしくは、すでにものづくりの楽しさには
まっているのではないですか？

思いどおりの家をつくり出す方法のひとつ、
それは、自分たちで建てるという選択。

みずからの手で建てた家には、
裏側まで知りつくしているからこそ得られるやすらぎと、
何ものにも代えがたい充実感があります





自分の手からしか生まれてこない 隅々まで「ほんとうに好きな家」

群馬県／緑川さんの住まい



妙英さんがいちばん気に入っているのがこのキッチン。自分でデザインして、自分で施工したのです。さりげなく付けられた棚の位置も絶妙にきまっています



友人から贈られたアンティークの板をブロックの足に載せて。お気に入りの器を飾ります



一つひとつの器にも思い入れが。作家ものの陶器を少しずつ買い集めているそうです



引き出しも妙英さんによる制作。ちょっときしむのはご愛敬



小さめだけれど、レトロなデザインが気に入っている冷蔵庫

鏝あとの残る漆喰壁と、ざっくりとした質感の板で構成された緑川邸。素朴な風合いの住まいが、古く味わいのある家具や小物と一体になって独特の個性を発しています。「まさかここまで自分たちでやることになるとは思いませんでした（笑）。『思い立ったら即行動』の2人だからできたんでしょうね」と妻の妙英さんは語ります。

都会を離れ、自然のなかで暮らしたいと思つた夫妻は、3年前この地の賃貸住宅に転居。2年ほど経ったころ、家づくりのためご両親の敷地の一部を提供してもらえらることになりました。「自分たちの好きな家でない」と建てる意味がない」「自分たちでできることはやろう」と2人の意見は一致。そこで浮上したのが、内装工事をみずから行うハービルドという方法でした。「最初は本当にできるのかと不安で。ホームページではかの方の工事の様子を見ていたのですが、だんだんできるような気がしてきて、しまいには『やろう！』って（笑）」。

「ずっと昔からこうだった」
そう思わせる居心地のよさ。
私たちだけの、世界にただひとつの家

リビングは、古い家具や薪ストーブがしっくりとなじむ、木と漆喰のやわらかな空間です



5



6

5. 裁縫机の前の窓からは、山々が見渡せます。薄いグレーにペイントされた窓枠が、美しい景色の額縁となっています
6. お祖母様から譲り受けた40年ほど前のミシンを愛用しています。「古いけどすごくきれいに縫えるんですよ。機能は単純ですが丈夫です」と妙英さん

アンティークの持つ温もりが
ハンドメイドの家には似合う



壁用の余った板にペンキを塗って窓枠にしました。いい味わいに仕上がっています



古い棚をペイントして裁縫コーナーの飾り棚に。アンティークの小物などを飾っています



1



2



4



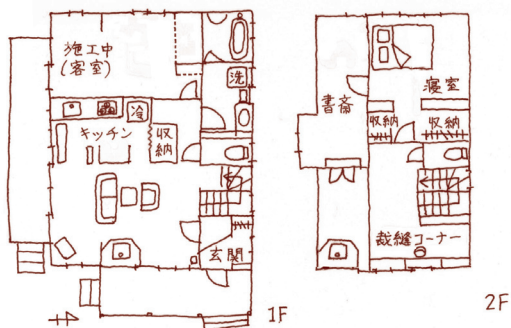
3

1. 妙英さん専用の裁縫コーナーは眺めの良い場所に。吹き抜けに面しており明るく居心地のよいスペースです
2. ご主人の趣味の部屋。ギターやレコード、雑誌や服など、好きなものがおしゃれにディスプレイされています
3. 吹き抜けに上がってくるストーブの暖気を取り込むため、小窓を設けました
4. 天窓から星空が望める快適なベッドルームです

2人だけがわかる微妙なニュアンス
セルフビルドは究極の自己表現



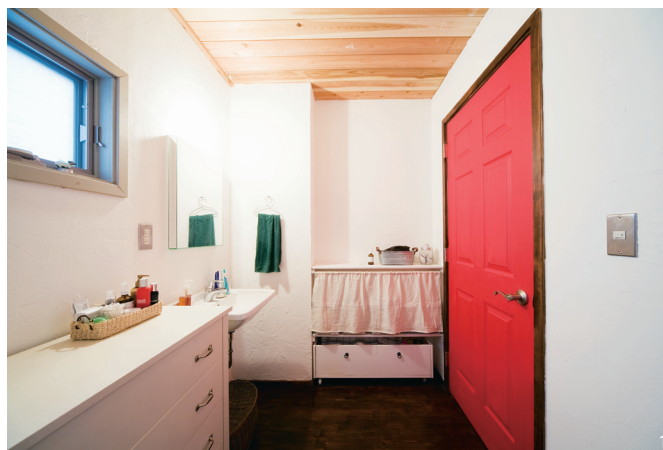
グレーの外壁に煙突。三角屋根は「家の原型」を思わせます。明かりが灯るといっそう温かいイメージに



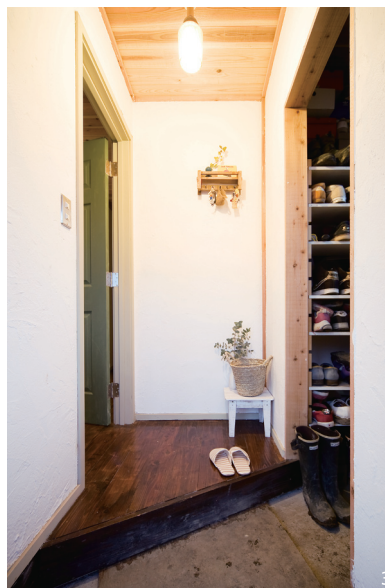
4. ゲストルームは今も「進行形」。クローゼットの扉を付ける予定です 5. 漆喰塗りのための道具 6. 床に杉板を張る作業。すべての工程で、2人の協力が欠かせませんでした



5



1



3



2

1. 広々した洗面室。各室のドアの色はご主人が決めました。モノトーンの空間に華やかさを添えています
2. トイレも漆喰の壁に囲まれたナチュラルな空間
3. 玄関にも、これからまだ手を加える予定どとか

「人に伝えにくい微妙なニュアンスは、自分でつくるのがいちばん早いです。セルフビルドの魅力はそこにあります」。上棟・引き渡しが9月初旬で、引っ越しが2月20日。普通は半年ほどかかる内装工事を、夫妻は約4カ月でやり遂げました。

「大変だったのは、石膏ボード張り。重いし、しなるし割れやすい。切れば白い粉で鼻の中が真っ白に。服も何着もダメになって」。そんなつらいときをどうやって乗り越えたのかと問えば、「できない気がなく2階からリビングを見下ろした瞬間に、「本当にできたんだ！」という大きな喜びが込み上げてきたそうです。理想の住まいと同時に手に入れたのは、自分に対する自信と誇りという得難い財産でした。

DATA	夫(42歳) 妻(33歳) 猫1匹	設計・施工サポート
家族構成	110.57㎡ (33.51坪)	株式会社ハーフビルドホーム
延床面積	66.24㎡ (20.07坪)	http://www.hbh-nasu.com/
1階面積	44.33㎡ (13.43坪)	栃木県那須塩原市橋本町2-21
2階面積	8.28㎡ (2.51坪)	TEL 0287-73-2278
ロフト面積	8.28㎡ (2.51坪)	e-mail maoki@hbh-nasu.com
構造	枠組壁構法(ツーバイフォー)	
竣工	2008年2月	